

セルリアンタワー能楽堂

十四 月 狂 言

インセルリアンタワー 21

十二月十五日 水

午後七時開演(午後六時三十分開場)



狂言
塗附
磁石

野村 萬斎
石田 幸雄

解説

野村 萬斎



○解説

野村萬斎



■野村 萬斎(のむら まんさい)

1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外での狂言公演に参加する一方、映画、ドラマに出演するなど幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞優秀作品賞等を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。東京芸術大学客員教授。石川県立音楽堂邦楽監督。

○狂言「磁石」

すっぱ	石田 幸雄
田舎者	石田 淡朗
宿屋	深田 博治
後見	内藤 連

遠江(とおとうみ)の国の田舎者が上京する途中、近江の国の大津松本の市を見物していると、すっぱ(いたずら者)が言葉巧みに近づいてきて、田舎者を定宿に連れ込む。実はこの宿の主人は人買いで、すっぱから田舎者を買う約束をする。この話を盗み聞きした田舎者は、先回りして金を受け取り逃げ去る。あわてて追いかけたすっぱが太刀を抜いて振り上げると、田舎者は機転を利かせて、自分は磁石の精だと名乗り、大口を開けて太刀を飲み込もうとする。驚いたすっぱは…。

中世の時代のバイタリティを感じさせる、いかにも狂言らしい荒唐無稽なお話です。

—休憩15分—

○狂言「塗附」

塗師	野村萬斎
大名	野村太一郎
大名	内藤 連
後見	石田淡朗

歳暮の挨拶回りに出かける途中の二人の大名が、忙しくて塗り直す暇がないと漆の剥げかかった鳥帽子を気にしていると、ちょうどそこへ通りかかった塗師が、かぶったまま鳥帽子を塗り直してくれる。漆を乾かし、室を取つてみると…。

和泉流の専有曲。漆塗の細かな作業ぶりが垣間見られ、興味深い演目です。

<終演予定 午後8時30分頃>

2021年 12月15日(水)
午後7時00分開演(午後6時30分開場)

- 前売開始：2021年9月15日(水) 午前10時00分より
- 料金：S席(正面) 12,000円／A席(脇正面) 10,000円
(税込み) B席(中正面) 8,000円／学生席(座敷・自由) 4,000円
- ※学生席はセルリアンタワー能楽堂のみにて取り扱います。
購入の際に学生証の提示をお願いいたします。

○チケット申込み：

- **Bunkamura** チケットセンター 03-3477-9999(10:00-17:00)
<https://my.bunkamura.co.jp/> [PC・スマホ対応/座席選択可]
- **Bunkamura** チケットカウンター Bunkamura 1F正面入口右手(10:00-18:00)
- 東急シターオーブ チケットカウンター 渋谷ヒカリエ2F(11:00-18:00)

※営業時間は変更になる可能性がございます。何卒ご了承ください。

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承下さい。

協賛：野村證券

「渋谷駅」国道246号線沿いにそびえる超高層ビル
「セルリアンタワー」の地下2階。

